

基本目標 2
**家庭・地域社会での
教育の推進**



基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進

基本的施策 1 // 家庭教育、子育て支援の充実



整理番号	想定される事業	事業区分（評価）		新規・継続・廃止
		計画策定期	中間評価	
2-1-1	入学説明会などの機会を活用し、保護者を対象とした家庭教育の大切さを学ぶ講座を実施するなど、家庭の教育力を高めるため、学習機会の充実に努めます。	A	A	継続
2-1-2	効果的な家庭教育の事業を推進するため、各関係機関や地域が連携した「家庭教育推進協議会」を開催し、課題や施策について協議します。	A	A	継続
2-1-3	保健センターで行われる0歳児相談で、赤ちゃんと一緒に絵本を読む大切さを伝える「ブックスタート事業」を実施します。	B	B	継続
2-1-4	家庭教育指針「ののいち元気家族三か条」を活用しながら、基本的生活習慣や家庭教育の大切さを啓発します。	B	B	継続
2-1-5	市内一斉に親子のふれあいを強化する日として「ノーテレビ・ノーゲームデー」を推進します。	B	A	継続
2-1-6	家庭教育サポーターを養成し、保育園での保護者に対する相談業務など、子育て支援や子育て相談体制の充実に努めます。	B	B	継続
2-1-7	子育て支援施設で実施される行事の情報を、「ののいちこどもカレンダー」として作成し、市内医療機関やスーパーなどに掲示し、情報の提供に努めます。	B	A	継続
2-1-8	家庭教育力を高めるため、小・中学校生の保護者を対象に家庭教育の大切さを学ぶ（PTA家庭教育学級）講座などを実施し、学習機会の充実に努めます。	B	B	継続
2-1-9	幼児期における家庭の教育力を高めるため、保護者を対象に親子のふれあいの大切さや生活習慣の大切さを学ぶ「幼児家庭教育講座」を開催します。	B	B	継続
2-1-10	情報技術を活用した今後の家庭教育支援として、携帯電話などモバイルツールを活用した子育て情報配信サービスを充実します。	C	B	継続

整理番号 2-1-1	入学説明会などの機会を活用し、保護者を対象とした家庭教育の大切さを学ぶ講座を実施するなど、家庭の教育力を高めるため、学習機会の充実に努めます	担当課 生涯学習課						
事業区分（評価） 計画策定期 A	具体的な取組みの例 ●就学時の健康診断を活用した子育て講座の開催 ●思春期子育て講座の開催	中間評価 A						
これまでの課題等 限られた時間の中でより多くの保護者を対象とした学習の機会を設けていかなければならない。	今後の方向性 家庭の教育力を高めるため、講座の内容を充実させながら、継続して実施します。							
平成28年度の実績								
<p>就学時の健康診断を活用した子育て講座</p> <ul style="list-style-type: none"> 野々市小学校 就学を控えて一親としての心構えー 御園小学校 家庭教育の大切さについて 菅原小学校 歯のトラブル解決でワンランク上の学校生活 富陽小学校 入学にあたり親として心がけること 館野小学校 就学前に大切にしてほしいこと <p>思春期子育て講座</p> <ul style="list-style-type: none"> 野々市中学校 思春期の子どもとの関わり方について 布水中学校 思春期の子どもとの関わり方について 								
<table> <tbody> <tr> <td>金沢星稜大学教授 泉野図書館館長 にしごち歯科医院院長 金沢大学人間社会学域学校教育学類 非常勤講師</td> <td>寺井弘実 140名 茶谷信一 156名 西口正純 90名 池田三津子 161名</td> </tr> <tr> <td>金沢星稜大学教授</td> <td>寺井弘実 62名</td> </tr> <tr> <td>金沢星稜大学教授 金沢星稜大学教授</td> <td>寺井弘実 260名 寺井弘実 220名</td> </tr> </tbody> </table>			金沢星稜大学教授 泉野図書館館長 にしごち歯科医院院長 金沢大学人間社会学域学校教育学類 非常勤講師	寺井弘実 140名 茶谷信一 156名 西口正純 90名 池田三津子 161名	金沢星稜大学教授	寺井弘実 62名	金沢星稜大学教授 金沢星稜大学教授	寺井弘実 260名 寺井弘実 220名
金沢星稜大学教授 泉野図書館館長 にしごち歯科医院院長 金沢大学人間社会学域学校教育学類 非常勤講師	寺井弘実 140名 茶谷信一 156名 西口正純 90名 池田三津子 161名							
金沢星稜大学教授	寺井弘実 62名							
金沢星稜大学教授 金沢星稜大学教授	寺井弘実 260名 寺井弘実 220名							

活用した子育て講座を



思春期子育て講座



整理番号 2-1-2	効果的な家庭教育の事業を推進するため、各関係機関や地域が連携した「家庭教育推進協議会」を開催し、課題や施策について協議します	担当課 生涯学習課 子育て支援課 健康推進課
---------------	--	---------------------------------

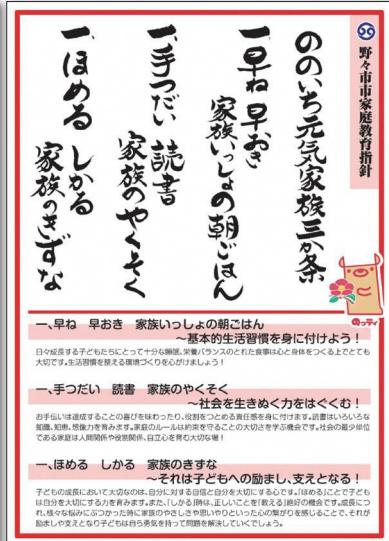
事業区分（評価）		具体的な取組みの例
計画策定時	中間評価	●家庭教育推進協議会の開催（年2回）
A	A	

これまでの課題等	今後の方向性
<p>より効果的な家庭教育の事業を推進するために、協議会の開催回数や内容を検討します。</p>	<p>各関係機関や地域が連携した協議会を今後も継続して開催し、家庭教育における課題や施策について協議していきます。</p>

平成28年度の実績	
<p>ののいち元気家族三か条のチラシ作成 ノーテレビ・ノーゲームデー啓発グッズの作成、周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ミニのぼり作成…市内小学校、保育園、幼稚園、公民館等社会教育施設、少年育成センターに設置 ウェットティッシュ作成…保護者に向けて配布 (配布実績) 市内中学校入学説明会 家庭教育サポーター関連事業 なかよし子育て大集合 	



ノーテレビノーゲームデー啓発グッズ



整理番号 2-1-3	保健センターで行われる0歳児相談で、赤ちゃんと一緒に絵本を読む大切さを伝える「ブックスタート事業」を実施します						担当課 生涯学習課 健康推進課		
事業区分（評価） 計画策定時 B	中間評価 B	具体的な取組みの例 ●ブックスタート事業の実施							
成 果 指 標	指 標 名 ブックスタート事業への参 加人数	単位 組/年	計画策定時 624	現状値 647	目標値 800	指標の説明 家庭教育における読書の大切さを伝える (親子：組)			
これまでの課題等		今後の方向性							
この取り組みは、子育て支援、読書推進、市民協働等、様々な立場の人たちが連携し、各家庭において読み聞かせが実践されるよう、活動の趣旨の理解を深め、広く伝えていく必要があります。		ブックスタートで読書の楽しさに关心を持つ親子に、図書館への来館を促す取り組みを行います。							
ブックスタート事業とは 保健センターで行われる0歳児相談に参加した親子に、ボランティアが、絵本等が入ったブックスタートパックを手渡し、読み聞かせの楽しさ、大切さを伝える事業です。									

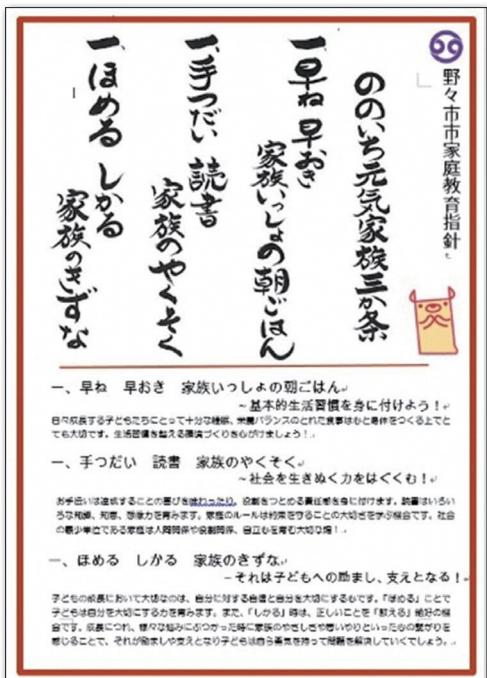


ブックスタート



0, 1, 2歳児のためのおはなし会

整理番号 2-1-4	家庭教育指針「ののいち元気家族三か条」を活用しながら、基本的生活習慣や家庭教育の大切さを啓発します		担当課 生涯学習課
事業区分（評価） 計画策定時 B	中間評価 B	具体的な取組みの例 ●啓発活動（講座実施時、園開放なかよしの日等でのチラシ配布） ●ののいち元気家族三か条のDVDの作成 ●ウェブ上の啓発	
これまでの課題等 「ののいち元気家族三か条」の認知度の向上が必要です。		今後の方向性 今後も新たな活動を増やし、基本的生活習慣や家庭教育の大切さを啓発します。	



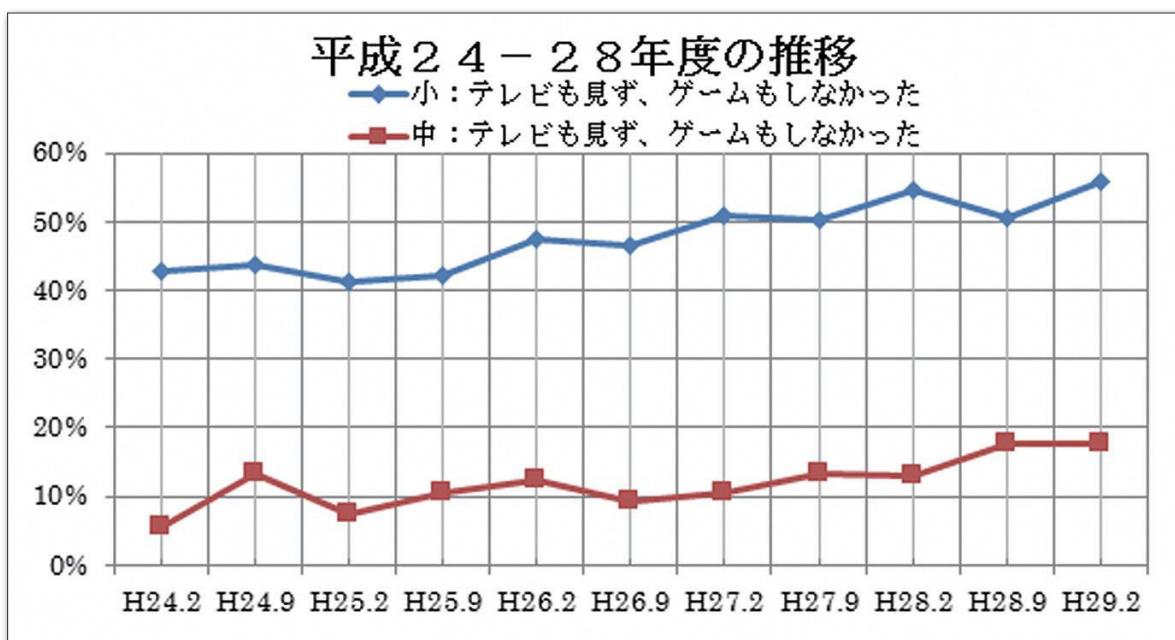
ののいち元気家族三か条チラシ



なかよし子育て大集合！でのDVD上映



整理番号 2-1-5	市内一斉に親子のふれあいを強化する日として「ノーテレビ・ ノーゲームデー」を推進します						担当課 学校教育課 生涯学習課
事業区分(評価)	具体的な取組みの例						
計画策定時	●えふえむ・エヌワンでの児童生徒の声による放送 ●学校で啓発						
B	A						
成果指標	指標名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明	
	テレビも見ず、ゲームもし なかつた(小学生)	%	—	56	70	学校教育課調べ	
	テレビも見ず、ゲームもし なかつた(中学生)	%	—	18	30	学校教育課調べ	
	これまでの課題等						今後の方向性
啓発活動により徐々に成果が現れてきています。						PTAや市民会議等、関係機関との連携を進め、保護者への啓発を継続します。	



平成24～28年度の推移

整理番号 2-1-6	家庭教育サポーターを養成し、保育園での保護者に対する相談業務など、子育て支援や子育て相談体制の充実に努めます						担当課 生涯学習課						
事業区分（評価）		具体的な取組みの例											
計画策定時	中間評価	<ul style="list-style-type: none"> ●園開放事業「なかよしの日」での活動 ●のいちこどもカレンダーの作成・配布 											
B	B												
成 果 指 標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明							
	家庭教育サポーター会員数	人	20	27	35	保護者に対して、保育園で子育て相談を実施							
これまでの課題等				今後の方向性									
<p>インターネットで情報を得ることの多い現在の子育て世代に対応するため、WEB上の発信が求められています。</p>				<p>養成講座を行いながら計画的にサポーターの充実を目指していきます。また、専門知識を有する「ののいちはぐドットネット運営委員会」と協力することで情報発信等に努めています。</p>									
平成28年度の実績													
<p>子育て支援・相談活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内15園（市立保育園5園、法人保育園10園）の園開放事業「なかよしの日」にサポーターが出席、保護者と関わりながら、気軽な相談相手として活動する。 <p>定例会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 2ヶ月に1回定例会の実施（6回開催、うち1回は学習会） 学習会内容：子育てに関する各種助成・制度について…予防接種の種類や助成、子育て支援医療費制度について学習 <p>家庭教育サポーターの周知、家庭教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> お年寄りと子どものフェスティバルへの参加 													



保育園での子育て相談



なかよし子育て大集合！



整理番号 2-1-7	子育て支援施設で実施される行事の情報を、「ののいちこどもカレンダー」として作成し、市内医療機関やスーパーなどに掲示し、情報の提供に努めます		担当課 生涯学習課
事業区分（評価） 計画策定時 B	中間評価 A	具体的な取組みの例 ●ののいちこどもカレンダーの作成・配布（2ヶ月に1度発行）	
これまでの課題等 カレンダーのわかりにくい箇所を改善し、多くの人が手に取り、利用してもらえるカレンダーを作成します。		今後の方向性 今後も関係施設の協力を得ながら継続してカレンダーを作成し、細やかな情報の提供に努めます。	
平成28年度の実績 ののいちこどもカレンダーの作成・配布。 ・市内子育て関係施設で実施される親子参加対象事業をカレンダー形式にまとめ、2ヶ月に1度発行。 ・市内子育て施設及び市内スーパー・マーケット（13店舗）、ドラッグストア（9店舗）、小児科医院（3医院）に掲示を依頼。			



ののいちこどもカレンダー

整理番号 2-1-8	家庭教育力を高めるため、小・中学校生の保護者を対象に家庭教育の大切さを学ぶ(PTA家庭教育学級)講座などを実施し、学習機会の充実に努めます						担当課 生涯学習課		
事業区分(評価) 計画策定時 B	中間評価 B	具体的な取組みの例 ●家庭教育学級の開催							
成 果 指 標	指 標 名 家庭教育学級への参加人数	単位 人/年	計画策定時 600	現状値 963	目標値 900	指標の説明 PTA主催で家庭教育学級を実施			
これまでの課題等 各学校のPTA役員からは、参加者の確保が難しいという声があります。				今後の方向性 講座内容の充実を図り、各学校のPTAの協力を図りながら多くの保護者が参加する事業を実施します。					
平成28年度の実績 家庭教育学級の開催 市内7校 15講座開催 参加者963名 (講座内容抜粋) ・インターネットとうまく付き合うために ・子供たちが安心して学校に通えるように ・おこづかいから始めよう 子どもの金銭教育 ・イラ・ムカ・カチンのコントロール術～怒りにふり回されない子育てのために～ ・子育てハッピーアドバイス「見逃さないで！子供の心のSOS」									



富陽小学校家庭教育学級



野々市中学校家庭教育学級



整理番号 2-1-9	幼児期における家庭の教育力を高めるため、保護者を対象に親子のふれあいの大切さや生活習慣の大切さを学ぶ「幼児家庭教育講座」を開催します						担当課 生涯学習課		
事業区分（評価） 計画策定時 B	中間評価 B	具体的な取組みの例 ●幼児家庭教育講座の開催							
成 果 指 標	指 標 名 幼児家庭教育講座の開催回数	単位 回/年	計画策定時 各園1	現状値 各園1	目標値 2	指標の説明 各保育園が主催する家庭教育講座を実施			
これまでの課題等 保育園ごとに保護者を対象とした学習の場を設けていますが、参加者数にばらつきがあります。				今後の方向性 講座内容の充実を図り、各保育園に多くの保護者が参加するように支援していきます。					
平成28年度の実績 計12園で開催、参加者数363人 (講座内容抜粋) ・子育ての疑問解決!?どうしたらいいの?どうしてそんなことするの? (押野保育園) 37名 ・親と子の関わり方 (御経塚保育園) 30名 ・家庭での親の役割 (ほりうち保育園) 12名 ・スマホに対する親としての危機管理について (ヴィテンSMC保育園) 63名									



幼児家庭教育講座
(はぐさん保育園)



幼児家庭教育講座
(あわだ保育園)

整理番号 2-1-10	情報技術を活用した今後の家庭教育支援として、携帯電話など モバイルツールを活用した子育て情報配信サービスを充実します		担当課 生涯学習課
事業区分（評価） 計画策定時 C	中間評価 B	具体的な取組みの例 ●市の子育て情報の提供	
これまでの課題等 インターネットで情報を得ることの多い現在の子育て世代に対応するために、掲載する情報等を充実させていく必要があります。		今後の方向性 今後も関係機関と協力し、子育てに関する情報をモバイルツールを利用して発信します。	
市の子育て情報の提供例 ・ののいちこどもカレンダー ・休日当番医表 ・市内子育て支援センター通信、児童館だより			



基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進

基本的施策 2 // 青少年の健全育成



整理番号	想定される事業	事業区分（評価）		新規・継続・廃止
		計画策定期	中間評価	
2-2-1	不登校など、子どもたちが直面する課題の調査・研究や教育相談など、教育センター活動の充実に努めます。	A	B	継続
2-2-2	青少年問題協議会の開催など、関係機関相互の調整と意見交換をしながら青少年健全育成の課題について調査・研究に努めます。	B	B	継続
2-2-3	県事業の「石川少年の翼」の参加者への助成など国際交流の推進に努めます。	B	B	継続
2-2-4	成人式の開催を通して、自立し大人社会への仲間入りすることの自覚など青少年の社会参加活動を推進します。	A	A	継続
2-2-5	少年育成センターの活動として、Webサイトの巡回など有害情報から子どもを守る取り組みを推進します。	B	B	継続
2-2-6	少年育成センターの活動として、街頭巡回活動など子どもの問題行動の抑止と有害環境から子どもを守る取り組みを推進します。	A	A	継続
2-2-7	自然と触れ合う「自然教室」を実施し、子どもたちがたくましく生きる力や豊かな人間性を育むように努めます。	B	A	継続
2-2-8	立志式の開催を通して、人生の分岐点に立つ14歳の青少年に、次代を担う者としての自覚・自立を促します。	B	A	継続
2-2-9	子ども会やPTAなど、社会教育団体の活動を支援します。	B	A	継続
2-2-10	青少年ボランティア団体などの活動を支援します。	B	B	継続

整理番号 2-2-1	不登校など、子どもたちが直面する課題の調査・研究や教育相談など、教育センター活動の充実に努めます	担当課 学校教育課
事業区分（評価） 計画策定期 A	具体的な取組みの例 ●「ふれあい教室」の開設 B	
成 果 指 標	指標名 年度末不登校・不登校傾向児童生徒の出現数	単位 人 目標値 65 指標の説明 教育センター調べ
これまでの課題等		今後の方向性
不登校及び不登校傾向の児童生徒が近年、増加傾向にあります。小学校では出現率が全国平均を上回り、特に高学年で多い実態があります。		教育相談体制の充実を図り、関係機関と連携しながら不登校児童生徒に適切な働きかけができるようにします。
平成28年度の実績 教育相談員配置 中学校2名（平成29年度より、小学校2名追加配置）		

整理番号 2-2-2	青少年問題協議会の開催など、関係機関相互の調整と意見交換を ながら青少年健全育成の課題について調査・研究に努めます		担当課 生涯学習課
事業区分（評価）	具体的な取組みの例		
計画策定時 B	中間評価 B	●青少年問題協議会の開催	
これまでの課題等		今後の方向性	
<p>年に1回、青少年問題協議会を開催し、市内における青少年の指導、育成、保護及び矯正のため関係機関と連絡調整を行い、青少年育成に係わる各組織が抱える疑問や問題、対応困難な課題について調査審議を行ってきましたが、青少年を取り巻く環境が日々変化していく中で、青少年問題協議会がその環境の変化に取り残されないようにする必要があります。</p>		<p>今後も市内における青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の適切な実施を期するために関係機関と細かな情報でも積極的に情報共有をし、必要な重要事項について調査審議を行っていきます。</p>	

整理番号 2-2-3	県事業の「石川少年の翼」の参加者への助成など国際交流の推進 に努めます		担当課 生涯学習課
事業区分（評価）	具体的な取組みの例		
計画策定時 B	中間評価 B	●石川県事業「21世紀石川少年の翼」の周知協力、参加希望者の推薦および参加者への助成	
これまでの課題等		今後の方向性	
<p>応募者の無い年度もあり、国外派遣事業への関心が伸び悩んでいます。</p>		<p>国外派遣事業の周知を徹底し、潜在的な参加希望者への働きかけを継続して行います。</p>	



整理番号 2-2-4	成人式の開催を通して、自立し大人社会への仲間入りすることの 自覚など青少年の社会参加活動を推進します		担当課 生涯学習課
事業区分（評価） 計画策定時 A	中間評価 A	具体的な取組みの例 ●式典の開催 ●成人式実行委員会を新成人の有志で組織し運営	
これまでの課題等 新成人としての自覚を促すような厳粛な式典 の運営		今後の方向性 実行委員会による運営を通して、新成人の社会 参加活動を推進し、市として式典を継続して開催 し、新成人をお祝いします。	
平成28年度の実績 平成29年1月8日 午後2時～4時 式典参加者数 330名（男性：175名 女性：155名） 成人式実行委員会 ・委員数：7名（野々市中出身者2名、布水中出身者4名、錦丘中学校出身者1名）			



記念アルバム用写真撮影の様子



実行委員会の様子

整理番号 2-2-5	少年育成センターの活動として、Webサイトの巡視など有害情報から子どもを守る取り組みを推進します						担当課 生涯学習課						
事業区分（評価）		具体的な取組みの例											
計画策定時	中間評価	●専任育成指導員による、パソコン・スマートフォンを使用したWebサイト巡視の実施											
B	B												
成 果 指 標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明							
	Webサイトの巡視活動	回数/年	一	88	100	市のパソコン及び携帯からWebサイトの監視							
これまでの課題等				今後の方向性									
Webサイトの多様化により巡視のターゲットが複雑化しており、発見が難しくなってきています。				青少年に関する各団体と連携・情報共有を行いながら、有害環境から子どもたちを守るためにWebサイトの巡視を継続します。									
平成28年度の実績													
インターネット巡視 毎週火・木曜日 10:00～11:00 計88回													



整理番号 2-2-6	少年育成センターの活動として、街頭巡回活動など子どもの問題行動の抑止と有害環境から子どもを守る取り組みを推進します						担当課 生涯学習課		
事業区分（評価） 計画策定時 A	具体的な取組みの例 ●市教育委員会から委嘱を受けた育成指導員（約60名）と専任育成指導員（2名）による市内の街頭巡回活動								
成 果 指 標	指 標 名 街頭巡回活動の回数	単位 回/年	計画策定時 148	現状値 345	目標値 150	指標の説明 各巡回員による街頭巡回			
これまでの課題等				今後の方向性					
<p>区画整理や大型商業店・コンビニの新設など、市内の青少年を取り巻く環境は日々変化しており、青少年の行動範囲や非行状況の把握および新たな商業店との協力関係の構築など、変化に対応した活動が必要です。</p>				<p>今後も、青少年に係わる市内の団体・機関からの推薦により委嘱を受けた育成指導員が中心となり、少年の生活に寄り添う目線での街頭巡回活動、犯罪の動向や育成環境の変化に応じた健全育成活動を推進し、青少年による問題行動の未然防止を図ります。</p>					



じょんからまつり特別街頭巡視



育成指導員研修会



街頭巡回活動



街頭巡回活動

整理番号 2-2-7	自然と触れ合う「自然教室」を実施し、子どもたちがたくましく生きる力や豊かな人間性を育むように努めます		担当課 生涯学習課
事業区分（評価） 計画策定時 B	中間評価 A	具体的な取組みの例 ●野山の体験を中心に「自然教室」を開催	
これまでの課題等 ボランティアスタッフの確保が課題となっております。		今後の方向性 今後も市アウトドア体験実行委員会の協力を得、野外活動のベテランがいる環境下で市内の子どもが楽しく安全に自然体験ができるよう年2回の開催を継続します。	
平成28年度の実績 参加児童数 21人 ・鳥越城周辺トレッキングとそば打ち体験！福井県立恐竜博物館見学（9月10日） ・冬の野山を楽しもう！動物観察とかんじき体験（2月4日）			



鳥越城周辺トレッキング



かんじき体験

整理番号 2-2-8	立志式の開催を通して、人生の分岐点に立つ14歳の青少年に、 次代を担う者としての自覚・自立を促します		担当課 生涯学習課
事業区分（評価） 計画策定時 B	中間評価 A	具体的な取組みの例 ●立志式の開催	
これまでの課題等 激しく変化する社会に適応し、次代を担う者としての自覚、自立を促すことが必要です。		今後の方向性 自立心を促す式典と、子どもたちの発達期に適した内容の講演を継続して行います。	
平成28年度の実績 開催日程 11月30日（水） 式典14:00～ 講演14:30～ テーマ「にほんごいろいろ」 講 師 石川テレビ（株）アナウンサー 稲垣真一 対象人数 496名			



誓いの言葉



講演テーマ「にほんごいろいろ」

整理番号 2-2-9	子ども会やPTAなど、社会教育団体の活動を支援します		担当課 生涯学習課		
事業区分（評価） 計画策定時	中間評価	具体的な取組みの例 ●市子ども会育成連絡協議会および市PTA連合会の事務局常設への支援 ●公民館の使用料減免など、活動場所の支援および活動費の助成			
B	A				
これまでの課題等		今後の方向性			
<p>それぞれに自立した活動を行っていただいています。また、“ののいちっ子を育てる”市民会議等を通じた連携も行われています。</p> <p>今後も、各団体の活動を支援していきます。また、市の行事を通じて、社会教育の充実に努めていきます。</p>					
平成28年度の実績					
<p>子ども会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもフェスティバル 11月3日 (かべ新聞 53団体) ・輪投げグランドチャンピオン大会 5月29日 ・ドッヂボール大会 11月27日 <p>PTA活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市PTA連合会定例会 (年8回) ・夏休み街頭巡回活動 (7/16～18) ・冬休み街頭巡回活動 (12/23～25) ・春休み街頭巡回活動 (3/18～20) 					



子どもフェスティバル



子どもかべ新聞の掲示



整理番号 2-2-10	青少年ボランティア団体などの活動を支援します						担当課 生涯学習課	
事業区分（評価）		具体的な取組みの例						
計画策定時	中間評価	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティア探検隊飛鳥の育成 ●青年ボランティア団体 glory 等の活動支援 						
B	B							
成 果 指 標	指 標 名	単位	計画策定時	現状値	目標値	指標の説明		
	青少年ボランティア団体 の加入者数	人	27	17	40	ボランティア探検隊飛鳥 ボランティア団体 glory		
これまでの課題等				今後の方向性				
青少年ボランティア団体への加入が減少し、活動の幅が狭まってきた。				活動内容をインターネット等で周知し、知名度を高め、新規加入者を増やしていきます。また、複数の団体で連携してボランティアを行うことで活動の幅を広げます。				
平成28年度の実績								
<p>ボランティア探検隊飛鳥 会員8名 年9回活動 (主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷公民館花いっぱい運動 ・金沢南ケアセンター夏祭り ・子どもフェスティバル 遊びのコーナー ・ミニ門松づくり ほか <p>青年ボランティア団体 glory 会員9名 年10回活動 (主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代体験補助 ・マナビィフェスタ2016 ・成人式受付 ・椿まつり抽選会 ほか 								



ボランティア探検隊飛鳥



青年ボランティア団体 glory

基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進

基本的施策 3 // 家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上



整理番号	想定される事業	事業区分（評価）		新規・継続・ 廃止
		計画策定期	中間評価	
2-3-1	見守り隊など、地域での子どもの安全を守る取り組みを促進します。	B	B	継続
2-3-2	「ののいちっ子を育てる」市民会議の活動を支援して、「愛と和のひと声運動」など、市民相互の健全育成の気運を高めます。	B	B	継続
2-3-3	「ののいちっ子を育てる」市民会議の活動を支援して、「子どもと大人のまちぐるみ美化清掃」など、市民相互の健全育成の気運を高めます。	B	B	継続
2-3-4	放課後子ども教室など、地域での安全で安心な子どもの居場所づくりの取り組みを推進します。	B	B	継続
2-3-5	子どもの居場所づくりの取り組みである放課後子ども教室を地域単位の地区集会施設で運営します。	D	—	廃止
2-3-6	「ののいちっ子を育てる」市民会議を中心とした学校・家庭・育成団体・地域・行政の連携による育成活動を促進します。	B	B	継続
2-3-7	地域の伝統行事や子ども会活動の活性化を支援します。	B	B	継続

整理番号 2-3-1	見守り隊など、地域での子どもの安全を守る取り組みを促進します		担当課 学校教育課
事業区分（評価）		具体的な取組みの例	
計画策定期 B	中間評価 B	●学校安全ボランティア団体登録	
これまでの課題等		今後の方向性	
不審者等の問題があり、見守り隊との協力が不可欠です。		学校安全ボランティア団体が主体的に見守り活動を継続できるよう働きかけていきます。	



整理番号 2-3-2	「“ののいちっ子を育てる”市民会議」の活動を支援して、「愛と和のひと声運動」など、市民相互の健全育成の気運を高めます。		担当課 生涯学習課		
事業区分（評価） 計画策定時 B	中間評価 B	具体的な取組みの例 ●「愛と和のひと声運動」を支援			
これまでの課題等		今後の方向性			
<p>市民相互の健全育成の気運を高めるため、「“ののいちっ子を育てる”市民会議」が行う「愛と和のひと声運動」の活動を支援します。第1期以外の期間においても、各団体が自主的に活動できるよう支援していきます。</p>		<p>今後も市民相互の健全育成の気運を高めるため「“ののいちっ子を育てる”市民会議」が行う「愛と和のひと声運動」の活動を担当課である生涯学習課を中心に市役所全体で支援していきます。</p>			
平成28年度の実績					
<p>第1期 5月17日～5月23日 第2期 7月1日～7月7日 第3期 8月30日～9月5日 第4期 9月23日～9月29日 第5期 11月4日～11月10日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期は出発式・街頭呼びかけ有り ・第1期～第5期は生涯学習課職員が登校時間帯に広報車にて街宣活動 ・第1期～第5期は市役所に懸垂幕を掲示 					



「愛と和のひと声運動」押越交差点



「愛と和のひと声運動」横宮交差点

整理番号 2-3-3	「“ののいちっ子を育てる”市民会議」の活動を支援して、「子どもと大人のまちぐるみ美化清掃」など、市民相互の健全育成の気運を高めます						担当課 生涯学習課		
事業区分（評価） 計画策定時 B	中間評価 B	具体的な取組みの例 ●「子どもと大人のまちぐるみ美化清掃」を実施（7月の第1日曜日）							
成 果 指 標	指 標 名 美化活動への参加者数	単位 人/年	計画策定時 9273	現状値 5736	目標値 11000 (14000から変更)	指標の説明 子どもと大人のまちぐるみ美化清掃			
これまでの課題等				今後の方向性					
天候に左右される事業のため、悪天候の際には柔軟な対応が必要となります。参加者数は、増加傾向にありますが、計画策定時の目標達成は困難であると判断し、成果指標の目標値を下方修正しています。（参加者数の推移は、100頁を参照ください）				市民相互の健全育成の気運を高めるため、「“ののいちっ子を育てる”市民会議」が行う「子どもと大人のまちぐるみ美化清掃」の活動を担当課である生涯学習課を中心に支援していきます。					
平成28年度の実績 7月3日実施（雨天） 実施した町内会28町内会（内 延期15町内会） 中止した町内会26町内会 ※野々市明倫高校は6月14日実施、全校生徒・教職員で、敷地内・近隣地域の清掃活動									



子どもと大人のまちぐるみ美化清掃



子どもと大人のまちぐるみ美化清掃

整理番号 2-3-4	放課後子ども教室など、地域での安全で安心な子どもの居場所づくりの取り組みを推進します						担当課 生涯学習課		
事業区分（評価）	具体的な取組みの例								
計画策定時 B	中間評価 B	●放課後子ども教室の実施							
成 果 指 標	指 標 名 放課後子ども教室への受け入れ人数	単位 人/年	計画策定時 140	現状値 148	目標値 210	指標の説明 放課後子ども教室			
これまでの課題等				今後の方向性					
活動場所や教室スタッフの人員などの関係で、受け入れ可能人数が限られています。				教室ごとに特色のある活動を継続しながら、新たな協力者を見つけるなどして受け入れ態勢を強化していきます。					
平成28年度の実績									
小学校低学年向けの放課後子ども教室を市内6箇所で行い、昔遊びや様々な体験活動を実施 ・野々市小学校放課後ふれ愛ルーム 26回実施 参加者21人（主な活動）工作、フォルテ見学ほか ・御園小学校放課後子ども教室 25回実施 参加者24人（主な活動）ネイチャーゲーム、読み聞かせほか ・菅原小学校放課後子ども教室 27回実施 参加者25人（主な活動）サッカーアイス、お茶会ほか ・館野小学校放課後子ども教室 28回実施 参加者37人（主な活動）七夕、フラワーアレンジほか ・富陽小学校放課後子ども教室 25回実施 参加者25人（主な活動）グラウンドゴルフ、豆まきほか ・こどもセンター放課後子ども教室 27回実施 参加者16人（主な活動）パソコンでそぼう、能楽体験ほか									



放課後子ども教室



放課後子ども教室

整理番号 2-3-5	子どもの居場所づくりの取り組みである放課後子ども教室を地域単位の地区集会施設で運営します		廃止	担当課 生涯学習課
事業区分（評価） 計画策定時 中間評価		今後の方向性		
D	—	【廃止理由】 市内の社会教育施設の充実と、国の政策転換により学校施設での運営が進められているため。		

整理番号 2-3-6	「“ののいちっ子を育てる”市民会議を中心とした学校・家庭・育成団体・地域・行政の連携による育成活動を促進します		担当課 生涯学習課		
事業区分（評価） 計画策定時 中間評価		具体的な取組みの例			
B	B	●「“ののいちっ子を育てる”市民会議」の活動に連携			
これまでの課題等		今後の方向性			
青少年を取り巻く環境の変化に迅速に対応できる組織が求められています。					
市全域にかかる、青少年健全育成について協議し、連絡提携を図り、幅の広い市民運動を展開することを目的とする市民会議の活動と連携し時代の変化に柔軟に対応した育成活動を促進します。					
平成28年度の実績					
<p>「愛と和のひと声運動」（あいさつの呼びかけ）5期実施</p> <p>「メディア対策部会」（ネットワーク対策）4回実施</p> <p>「子どもと大人のまちぐるみ美化清掃」（地域における子どもと大人の交流）7月3日</p> <p>「非行防止標語ポスター」（市内小中学生による標語のポスター掲示）夏期・冬期</p> <p>「常任委員会」（各団体の現状報告・情報共有）4回実施</p> <p>「広報部会」（会報“ののいちっ子”の編集・発行）2回実施</p> <p>「青少年問題研修会」（ネットワーク環境の現状・家庭内対策）12月10日</p>					



標語ポスター渡し（市内店舗）



青少年問題研修会



整理番号 2-3-7	地域の伝統行事や子ども会活動の活性化を支援します		担当課 生涯学習課 文化課		
事業区分（評価）			具体的な取組みの例		
計画策定時 B	中間評価 B	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会育成連絡協議会事務局の常設および活動費の助成 子どもかべ新聞の作成 子どもフェスティバルの実施等の活動支援 「じょんからKIDS」の活動運営に対する補助 			
これまでの課題等		今後の方向性			
<p>核家族や市外からの転入者の増加により地域のつながりの希薄化が問題視されています。 「じょんからKIDS」の会員数が減少しています。</p>		<p>町内会など地域の方々との関係の強化を図りながら、特色のある子ども会活動を広げられるよう支援していきます。 活動を継続していけるよう、市の情報発信ツールなどを利用した会員募集や補助金の交付などで活動支援を続けていきます。</p>			
平成28年度の実績					
<p>子ども会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもフェスティバル 11月3日 (かべ新聞 53団体) ・輪投げグランドチャンピオン大会 5月29日 ・ドッヂボール大会 11月27日 <p>じょんからKIDS 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じょんからまつり 7月30日 ・北國街道野々市の市 10月9日 ・マナビィフェスタ 10月23日 ・椿まつり2017 3月19日 					



じょんからKIDS



子どもフェスティバル